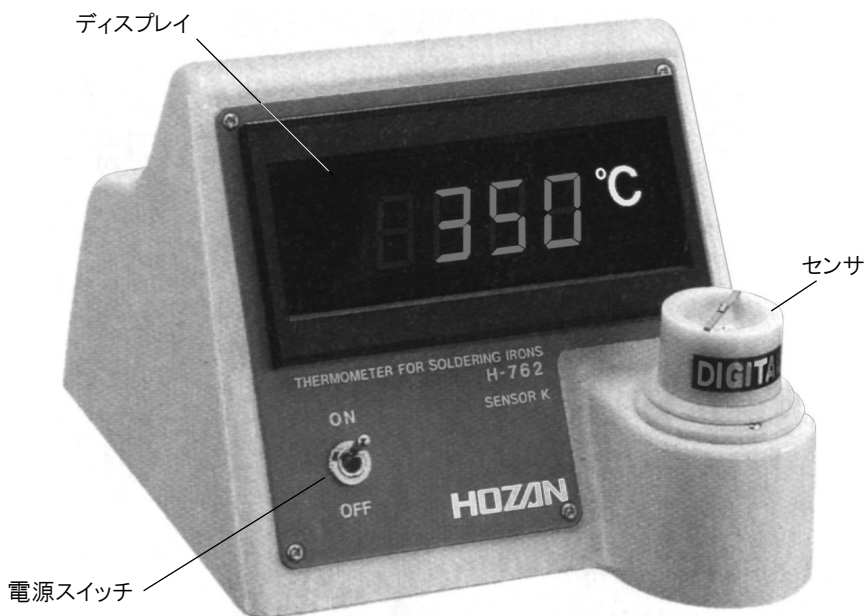


H-762

ハンダゴテ温度計(デジタル)

このたびはホーザン H-762 ハンダゴテ温度計(デジタル)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、お読みになったあとも大切に保管してください。

各部の名称



仕様

測定範囲	0~500°C	表示	最大 1999
センサ	H-763	電源	AC100V 50/60Hz
分解能	1°C	外形寸法	120(W)×100(H)×145(D)mm
確度	±(1%rdg+1dgt)	重量	800g
室温補正	自動補正		

注意文の警告マークについて

この取扱説明書ではご使用上の注意事項を次のように区別しています。

⚠警告…重傷をともなう重大事故の発生を想定してのご注意

⚠注意…傷害や物的損害を想定してのご注意

なお、**⚠注意**として記載されていても、あるいは特に記述がなくても、状況によっては重大な結果をまねく恐れがあります。正しく安全にご使用ください。

ご使用上の注意

本機は、ハンダゴテ専用の温度計です。この目的以外には使用しないでください。

⚠警告

測定直後のセンサに手を触れないでください。やけどの恐れがあります。

⚠注意

1. 本機のセンサ中央部を強く押しつけないでください。短時間でセンサが断線する恐れがあります。
2. 本機は500℃以上の温度測定はできません。500℃以上のハンダゴテには使用しないでください。
3. 本機は水平で安定した場所に設置してください。
4. 本機は精密機器です。落下などの強い衝撃を与えないでください。破損・故障の原因となる恐れがあります。

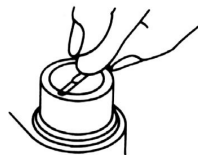
ご使用方法

1 本機を水平で安定した場所に設置します。電源プラグをコンセントに接続し、電源スイッチをONにすると室温がデジタル表示されます。

2 ハンダゴテを通电したまま、センサ中央部にコテ先をあてがい、ディスプレイのデジタル表示を読みとります。このとき、コテ先からセンサへの熱伝導を向上させるため、図のようにハンダを少量供給してください。



3 センサにはフラックスがたまりますので、ときどき洗浄剤(当社 Z-293 フラックスリムーバーなど)をしみこませた布で軽くふきとってください。



4 センサは消耗品です。断線した場合、ディスプレイはマイナスの不特定数を表示します。センサを図のように上へ引き抜き、新しいセンサと交換してください。



校正方法

校正・調整はご購入店を通じ当社へご依頼ください。試験成績表、校正証明書、トレーサビリティチャートの発行も承ります。

お客様にて、計器が正しいかどうかを判定する「校正」、正しくないと判断された場合の「調整」をしていただくこともできませんが、このことで生じる不測の事態につきまして当社では責任を負いかねます。あらかじめご承知おきください。以下に、校正についての方法のみ記します。調整方法に関する詳しい説明書はご請求に応じお届けいたします。

校正・調整を行うには熱電対温度計校正用の標準発生器、または直流標準電圧発生器、デジタルボルトメータが必要です。あらかじめご用意ください。

標準試験温度 : 室温中(20℃ < 室温 < 23℃)で作業を行ってください。

校正準備 : 標準試験温度の室温中に30分程度の間、標準器と被校正器を放置しておいてください。

● 基準接点温度の校正

- 1 センサをつけたまま、何も接続せずに本機の電源を入れます。約1分間のウォームアップののち、ディスプレイの示す値と室温とを比較します。
- 2 その差が±2℃以内であればOKです。
⚠ 注意 …この校正作業のあいだはセンサに手などを触れないでください。その恐れのある場合はセンサを引き抜いてピン間を短絡して行います。

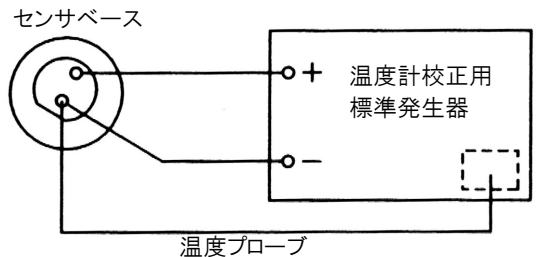
● 温度校正

熱電対温度計校正用標準発生器 使用の場合

- 1 まず上記基準接点温度が基準内にあるか確認します。

- 2 センサを引き抜いて右図のように接続し、電源を投入します。標準発生器の取り扱いについてはその説明書によってください。

(H-762は基準接点補償をしてあるので発生器も補償用温度プローブを使用する必要があります。温度プローブはセンサピン付近に置いてください。)



- 3 標準発生器から400℃に対応する電圧を印加します。

- 4 本機の指示が400℃ ± (1%rdg + 1dgt)^{※1}以内であればOKです。

- 5 400℃が合った状態で500℃に対応する電圧を印加したとき指示は503℃、以下300℃では298℃、200℃では199℃、100℃では101℃を示しますが、これはK種熱電対の温度と発生起電力の関係が若干直線性に欠ける特性によるものです。

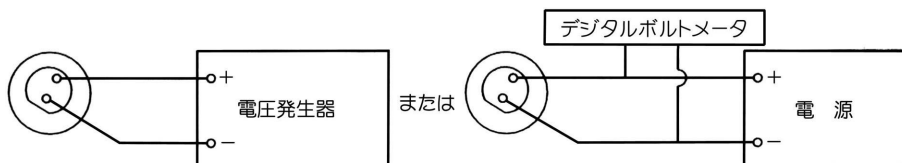
※1
1%rdg…ディスプレイに表示された数値の1%

※2
1dgt…ディスプレイの最小桁1コ分

校正方法

熱電対温度計校正用標準発生器以外の場合

- 1 まず前記の基準接点温度が基準内にあるか確認します。
- 2 センサを引き抜いて下図のように接続し、電源を投入します。



- 3 基準接点温度(室温)指示を読みとり、表1よりその温度に対する基準熱起電力を求めます。
- 4 表2の400°Cに対応する電圧から上記3で求めた電圧を差し引き、その電圧を印加します。
- 5 本機の指示が $400^{\circ}\text{C} \pm (1\% \text{rdg} + 1 \text{dgt})$ 以内であればOKです。

表1

室温(°C)	起電力(mV)
20	0.798
21	0.838
22	0.879
23	0.919
24	0.960
25	1.000
26	1.041

表2

温度(°C)	熱起電力(mV)
500	20.640
400	16.395
300	12.207
200	8.137
100	4.095
0	0

(JIS C 1602 による)

交換部品



H-763
標準付属品



H-768
(コテ先の細い
精密ハンダゴテ用)

ホーサン株式会社

本社 〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-12
TEL(06)6567-3111 FAX(06)6562-0024

技術的なお問い合わせ

ホーサン テクニカルホットライン
TEL(06)6567-3132

月曜日から金曜日(祝日を除く)の 10:30~12:00、13:00~17:00